

ブラインドサッカーを体験してみよう！

【島根県立益田高等学校】

ねらい

障がい者スポーツに対する理解を深め、共生の大切さを学び、自らの生き方を考える機会とする。

いつ

令和3年12月21日（火）

どこで

島根県立益田高等学校 体育館

だれが

生徒（2年生133名）

※講師…拝上 誠 氏

[島根オロチビート浜田 代表]

なにを

- ブラインドサッカーに関する講演
- ブラインドサッカー体験

概要

- ・ 講師の生き方に触れる中で、目標をもって様々なことに挑戦する意欲や相手の立場に立って考え行動することの大切さに気づく。
- ・ ブラインドサッカー体験を通して、その特性や魅力を感じるとともにコミュニケーションの大切さやチームワークを学ぶ。
- ・ 講演や体験からパラリンピックの理念や価値を学ぶ。



生徒は、事前にブラインドサッカーの動画を視聴しており、当日は具体的なイメージをもって講演や体験に参加することができました。講師の拝上氏によると、高等学校での体験会は初めての開催ということでしたが、アイマスクを活用して「見える人」と「見えない人」のどちらの立場も体験し、コミュニケーションの大切さを実感できた生徒たちでした。また、チーム対抗で行った「コーンあてシュートゲーム」では、どのチームも声や拍手で合図を出しながら協力して取り組み、ブラインドサッカーの魅力や難しさを感じていました。講演の最後に、拝上氏から「一人一人いろいろな個性があるように、障がいも個性である。皆さんには、それを理解し尊重し合う多様性の時代を担う担い手になってほしい」とメッセージを送っていただきました。